

## 琵琶湖森林づくり県民税および税充当事業に対する 市町からの意見等について

### 1. 滋賀県市長会および滋賀県町村会からの要望

#### (1) 市長会からの要望（平成 28 年度滋賀県予算施策に対する要望書より）

「森林環境税」の創設や「琵琶湖森林づくり県民税」の活用による切り捨て間伐の実施に必要な財源を確保し、多様な間伐の取り組みができるよう県単事業の創設や、国庫補助事業の採択要件（集約化要件、搬出材積量要件）の緩和について、国に対して積極的に働きかけたいとされているところ。

あわせて、森林所有者の確定に向けた環境整備の充実強化、森林整備を担う人材を確保するため、森林組合経営基盤強化事業に人材雇用等に対する支援メニューの追加および、ボランティア等を活用した自伐林業への支援を願いたいとされているところ。

#### (2) 町村会からの要望（平成 28 年度県予算・施策に関する要望より）

森林が、水源かん養、土砂災害の防止、地球温暖化の防止などの多面的機能を有し、生活や経済活動に欠くことのできない重要な役割を果たしてきている。

しかしながら、これらの森林は、林業の不振から生産活動が停滞しつつあり、集中豪雨等による自然災害の発生により機能が低下していることから、森林の適正管理および木材供給体制の整備等による林業の持続的かつ安定的な発展のための施策を積極的に推進する必要がある。

これらのことから、次の事項を実現されるよう要望がされているところ。

- ・ 地域の実情に応じた主伐および間伐の伐採搬出システムを普及のうえ、実効性のあるものとされたい。また、伐採後の機能回復に必要となる支援を充実されたい。
- ・ 森林施業に必要となる労働力を長期的に安定して確保していくため、担い手の確保等に関する施策を充実されたい。
- ・ 町が実施する地域特性に応じた施策の財源として、琵琶湖森林づくり県民税を活用できるよう、検討されたい。
- ・ 鳥獣、虫、病気等から森林の樹木を守るための対策を強化し、必要な予算額を確保されたい。

## 2. 市町担当課への照会結果

### (1) 琵琶湖森林づくり県民税を財源とする事業についての意見

#### ① 里山リニューアル事業について

- ・ 里山リニューアル、里山防災事業については、事業の継続をお願いするとともに、整理した樹木の搬出と利用について支援策の拡充を検討ください。
- ・ 里山リニューアル、里山防災のような事業は、大変喜ばれる事業であり、充実した事業を継続してください。

といった、事業の継続および拡充を求める意見が多くあった。

#### ② 森林環境学習について

- ・ 今後、森林の担い手としての人材育成支援の観点からも各年代を対象とした有効な事業と評価しこのような木育の取組みに期待しており、さらに高校生年代や青年を対象とした緑の雇用に繋がる事業の展開に期待します。
- ・ 主に次代を担う子供たちへの支援策であり、市としても事業推進には力を入れており、継続した事業支援をお願いします。

といった、事業の継続および拡充を求める意見があった。

#### ③ 未来へつなぐ木の良さ体感事業について

- ・ 滋賀県材を利用した施設が完成したことで施設がより身近なものに感じられる。滋賀県材の利用が増えるよう資材の確保が今後大切になってくると思う。

といった、事業の継続を求める意見があった。

#### ④ その他の事業について

- ・ 年々増加しているシカなどの鳥獣による被害を防止し、また間伐等を促進することで森林の適切な管理に直結する。
- ・ 環境林整備事業を実施するためには協定を締結しなければならないとあるが、協定の必要性を感じない。

といった事業に対する意見もあった。

また、その他の意見としては、「県民への制度周知が少ない」「森林の持つ公益的機能の高度発揮のためには森林整備がますます重要であり、琵琶湖を守る水源林の立場、地球温暖化防止、国土保全や地方創生の観点からも森林に対する税の投入など財源を充実する必要がある」といった意見もあった。

## （２）琵琶湖森林づくり県民税に関する問い合わせ件数と内容

年間数件の問い合わせが当初課税通知発送時（６月頃）にある程度で、ほとんどの市町においては問い合わせはない状況である。

また、問い合わせのあった具体的な内容としては、琵琶湖森林づくり県民税とはどのようなものであるかといったものや均等割額の内容についてなど税制度に関するものである。